

## ■ 学習指導要領との対照表・配当授業時数

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
地理との出会い—地理的な見方・考え方って?— 地理を学ぶにあたって	A ~ C	P.II-III P.VIII	1
第1編 世界と日本の地域構成	A (1)	P.1-22	10
第2編 第1章 世界各地の人々の生活と環境	B (1)	P.23-42	8
第2編 第2章 世界の諸地域	B (2)	P.43-117	26
1 アジア州—人口や経済発展をテーマに— ※ 章導入ページを含む	B (2)	P.43-57	(5)
2 ヨーロッパ州—国境をこえた統合をテーマに— ※ 「チャレンジ地理」を含む	B (2)	P.58-71	(6)
3 アフリカ州—自立のための開発と国際協力をテーマに—	B (2)	P.72-81	(3)
4 北アメリカ州—世界に影響をあたえる産業をテーマに— ※ 「チャレンジ地理」を含む	B (2)	P.82-95	(6)
5 南アメリカ州—開発と環境保全をテーマに—	B (2)	P.96-105	(3)
6 オセアニア州—多文化が共生する社会をテーマに— ※ 「世界の諸地域をふりかえろう」を含む	B (2)	P.106-117	(3)
第3編 第1章 地域調査の手法—京都市伏見区を例に—	C (1)	P.118-137	7
第3編 第2章 日本の地域的特色と地域区分	C (2)	P.138-162	10
第3編 第3章 日本の諸地域	C (3)	P.163-262	36
1 九州地方—自然環境をテーマに— ※ 章導入ページを含む	C (3)	P.163-177	(5)
2 中国・四国地方—人口や都市・村落をテーマに—	C (3)	P.178-191	(5)
3 近畿地方—歴史的背景をテーマに—	C (3)	P.192-205	(5)
4 中部地方—産業をテーマに— ※ 「チャレンジ地理」を含む	C (3)	P.206-219	(6)
5 関東地方—交通・通信をテーマに—	C (3)	P.220-233	(5)
6 東北地方—持続可能な社会づくりをテーマに—	C (3)	P.234-247	(5)
7 北海道地方—自然環境をテーマに— ※ 「日本の諸地域をふりかえろう」を含む	C (3)	P.248-262	(5)
第3編 第4章 地域のあり方—京都市を例に—	C (4)	P.263-273	5
	(※予備時間：12時間)	<b>合計</b>	103

※ 「チャレンジ地理」には、1時間を配当しています。

※ 予備時間は、学校や生徒の実態に即して弾力的に扱っていただくための時間です。